

## 2024年度「応用ゼミナール」ミニシラバス(国際観光学科)

|          |  |
|----------|--|
| 担当者名     | 清水麻帆   |
| 授業のテーマ   | 文化観光から「持続可能な社会」を考える～世界遺産からポップカルチャーまで～  |
| 授業の内容    | 世界遺産の登録(申請)は地域や社会にとって本当に良いことなのだろうか。リゾートやエンターテイメントを含むカジノ観光は自然や日常生活に利益をもたらしているのか。アニメや映画などのコンテンツツーリズム(聖地巡礼)は持続して地域に貢献できるのか。これらの「是非」について、ディスカッションやディベートを実践し、皆で結論を導き出します。ゲーム感覚で専門知識やディベート・ディスカッションのスキルの習得を授業の目的としています。これらのスキルを卒業論文や企業面接など、今後活かせるように取り組んでもらえたらと思います。 |
| サブテキストなど | 適宜、資料やプリント等は授業内で配布します。   |
| お勧め対象    | ・「文化」や「観光」、「持続可能な社会」、「まちづくり」などに関心のある人<br>・ディベートやディスカッション(理論的な思考や他の人に自分の主張を伝えるため)のスキルを身につけたい人   |

|          |  |
|----------|--|
| 担当者名     | 菅原 周一  |
| 授業のテーマ   | 企業・業界を知ろう  |
| 授業の内容    | 企業が公表している各種情報(決算短信、パンフレット等)やフィールドワーク等で得られた情報をもとに、企業・業界の実態を調査します。対象企業は観光関連企業(航空、ホテル、旅行、ブライダル企業等)に加えて、将来、成長が期待できる内外の企業を含め、できるだけ広い範囲をカバーします。なお、企業・業界の実態を知るために、空港やホテル等の見学(原則、全員参加)を行う予定です。 |
| サブテキストなど | 業界研究、企業研究に必要な資料を必要に応じて配布します。   |
| お勧め対象    | 将来の自分の進路を真剣に考えたい人、観光関連企業に加えて、いろいろな企業の実態を知りたい人にお勧めします。  |

|          |   |
|----------|---|
| 担当者名     | 種村 聡子   |
| 授業のテーマ   | ホスピタリティ・マネジメント入門  |
| 授業の内容    | ホスピタリティ・ビジネスの具体的事例から、サービス提供や接客に必要なことは何かを考えます。ロボットによる接客が選ばれる一方で、ホスピタリティ・マインド溢れる接客を求める客もいます。従業員の管理やホスピタリティ・マインドの醸成について、ディスカッションをします。授業では、提示する文献リストから各人が選んだ文献の内容をまとめ、発表をします。また、ホスピタリティ産業や接客担当者が抱える問題をテーマにディベートを試みます。 |
| サブテキストなど | 文献は教員が準備します。井上真一(2019)『Peach のやりくり』東洋経済新報社、中沢康彦(2009)『星野リゾートの事件簿』日経 BP などの書籍。その他、必要に応じて指示します。   |
| お勧め対象    | 将来、接客業や観光関連産業に就きたいと考えている学生。<br>サービスやホスピタリティに興味を持っている学生。   |

|          |   |
|----------|---|
| 担当者名     | 中井治郎  |
| 授業のテーマ   | 現代の旅を「読む」そして「考える」～これからのツーリズム・リテラシー  |
| 授業の内容    | オーバーツーリズム、そしてコロナ禍を経験した観光の現場ではすでに、旅をする人の姿勢も問われ始めています。それは観光マナーなどの問題だけではなく、どのようにすればもっと「深い」旅ができるのかという問い直しともいえます。本ゼミではオードリー若林さんの旅行記『表参道のセレブ犬とカバーニャ要塞の野良犬』と自分自身の旅行経験を題材とし、主に文献講読とディスカッションを通して「旅する人のリテラシー」という視点から分析的に現代の観光体験を考える訓練を行います。 |
| サブテキストなど | 若林正恭『表参道のセレブ犬とカバーニャ要塞の野良犬』の入手が必須となります   |
| お勧め対象    | ひとり旅に憧れのある人、日記をつけるのが好きな人、誰かと作品の感想を語り合うのが好きな人。   |

|          |  |
|----------|--|
| 担当者名     | <b>B ※2024 年度 4 月着任</b>  |
| 授業のテーマ   | ご当地グルメによる地域プロモーションを考える   |
| 授業の内容    | ご当地グルメをはじめ、その土地に根差した「食」を活用して地域活性化に取り組む事例が増えています。「食」は観光行動において重要な要素になっているほか、急増するインバウンド旅行者にとっても日本の「食」は魅力的なコンテンツです。ご当地グルメによる地域価値の向上につながる地域プロモーションのプロセスについて、具体的な事例をもとに検討を行います。ゼミ生主体の対話やディスカッション、プレゼンテーションなどの機会を提供します。 |
| サブテキストなど | 資料類は適宜、配布します。  |
| お勧め対象    | ご当地グルメ、フードツーリズムに関心のある学生<br>地域プロモーションの手法について学びたい学生  |

|          |   |
|----------|---|
| 担当者名     | <b>C ※2024 年度 4 月着任</b>   |
| 授業のテーマ   | ホテルビジネス入門   |
| 授業の内容    | ホテル業界はコロナ禍を経て、今なお様々な問題に直面しており、それを解決する高い能力を持つ人材が求められています。この授業では、ホテル業界をテーマに皆さんが興味ある題材を取り上げ、問題設定からその解決策立案までの過程における様々なスキルを修得することを目指します。そのために、実際のホテル現場の見学(予定)、調査研究、ディスカッション、プレゼン等のグループワークを実施します。 |
| サブテキストなど | 授業において適宜紹介します。  |
| お勧め対象    | 授業テーマはホテル業界ですが、問題解決の手法の修得に興味関心がある学生にお勧めします。   |